

4月23日に「第2回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました

2014年5月9日

4月23日(水)午後6時から滋賀医科大学CMCホールにおいて「第2回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました。

講師には、医学科卒業生(25期生)で、あざいリハビリテーションクリニック院長で、里親学生支援室学外室員、NPO法人滋賀医療人育成協力機構の理事もされている松井善典先生をお招きし、「医学生・看護学生のあなたがプロの医療者になるための『二人の自分を大切に育てるコツ』」というテーマで、お話いただきました。教師を目指していた高校生が、1日看護師体験で見学した整形外科の手術の感動から、医師を目指すことも選択肢となり、その後の進路選択と決定、滋賀医科大学での大学生活、大学卒業後の2年間の初期研修先の選択と決定、3年間の後期研修先の選択と決定、2年間のフェローシップ、そして故郷長浜へ戻ってからの仕事について、成長していくうえでのロールモデルとなる人の出会いとつながり、応援し支援してくれる方のご縁を大切に育て続けること、経験を振り返ることの大切さについて、御自分の体験談を通して、和やかに聞かせていただきました。

参加した24名の学生は、熱心に先生の話聞き、また、色々な質問をし、充実した時間を持つことができました。

また、先生の前向きで元気なお話から、将来への勇気と元気をもらうことができました。ご多忙の中、講演いただきました松井善典先生、本当に有難うございました。

この「卒業後の自分を考える連続自主講座」は、定期的に学生が希望する講演テーマで開催しますので、ご要望をどしどしNPO法人滋賀医療人育成協力機構(里親学生支援室)までお届けください。



～参加学生の感想を一部紹介～

- ・「目標のたて方」という言葉にはっとしました。医学部に入学して以来活動したくても日々の勉強に忙殺されてやりたい学びが全くできずより消極的になっている自分に嫌気がさす日々でしたが、今は今の自分にふさわしい目標をたてようと思います。
- ・「自分らしい自分」と「プロとしての自分」という見方がなかったので、日頃のモヤモヤを整理するきっかけとなった。
- ・「与えられた役割と環境を生かして」と「成人学習型」の2点が印象に残りました。普段、何気なく過ごしている大学生活や出会いにも意味があり、その中で疑問を感じ、行動に移すことを目標にしたいと思います。授業では聞けない重要なヒントを教えていただき、本当にありがたかったです。

2013年度 活動実績

2014年5月8日

平成25年 4月 1日 里親学生支援室(継続設置)における新年度業務を開始

平成25年 4月5日～5月上旬

1年生に対し、新入生オリエンテーションや医学概論Ⅰ
などの時間を利用してプロジェクトの説明
パンフレットを配布して参加学生を募集

平成25年 4月10日 里親学生支援室だより No.10発行

平成25年 6月13日 里親学生支援室会議開催

平成25年 6月20日 里親学生支援室員と参加希望学生との懇談を実施
支援対象学生の確定・支援内容の具体的説明・学生の
属性や希望事項等の調査

平成25年 8月 2日 里親バンク登録の「里親」と参加学生とのマッチング
決定

平成25年 8月28日～29日

宿泊研修「彦根・米原方面の医療と歴史・文化を
学ぶ」を実施

参加者数 学生16名(内自治医科大学生4名含む)

教職員9名(内機構職員2名含む)

(滋賀医療人育成協力機構との協同で実施)

平成25年 9月20日 里親学生支援室だより No.11発行

平成25年10月26日～27日

若鮎祭(学園祭)開催時に「里親学生支援室ブース」
を開設(滋賀医療人育成協力機構との合同で開設)

平成25年11月28日 里親学生支援室会議開催

平成25年12月14日 「環びわ湖大学地域交流フェスタ2013」で活動内容等を展示
(滋賀医療人育成協力機構と共催・龍谷大学)

平成26年 1月 医学科学士編入生に対して、参加登録の募集を行う

平成26年 1月23日 里親・プチ里親対象の「FD研修会・意見交換会」
を開催

平成26年 3月18日～19日

宿泊研修「大津・湖南方面の医療と歴史・文化
を学ぶ」を実施

参加者数 学生13名(内自治医科大学生2名含む)

教職員10名

(滋賀医療人育成協力機構職員2名、滋賀県

医師キャリアサポートセンター職員1名含む)

(滋賀医療人育成協力機構との協同で実施)